

TOTO



洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

LDPB/LDPL060~075型(洗面化粧台)/LMPB/LMPL060~075型(化粧鏡)
LWPB/LWPL060~075型(ウォールキャビネット)



商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。


表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。


■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 は、してはいけない「禁止」内容です。	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---


● 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告


 **浴室など湿気が多い場所へ設置しない**
漏電により感電するおそれがあります。木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。


 **コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない**
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

 **電源コードを傷つけない**
漏電および火災の原因になります。


 **洗面ボウルの上へのらない**
故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。


警告


 **壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**
必ず実行
キャビネットや化粧鏡が転倒、落下しけがをするおそれがあります。


 **電源はAC100Vを使用する**
必ず実行
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

注意

 **湯・水を逆に配管しない**
禁止
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

 **凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う**
必ず実行
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

 **取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**
必ず実行
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

 **取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する**
必ず実行
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

2) 設置寸法

- 電源コードは、上部からの取り出しもできます。

- 止水栓および壁排水管は付属していませんので、必要な場合は右記品番の別売品をご購入ください。

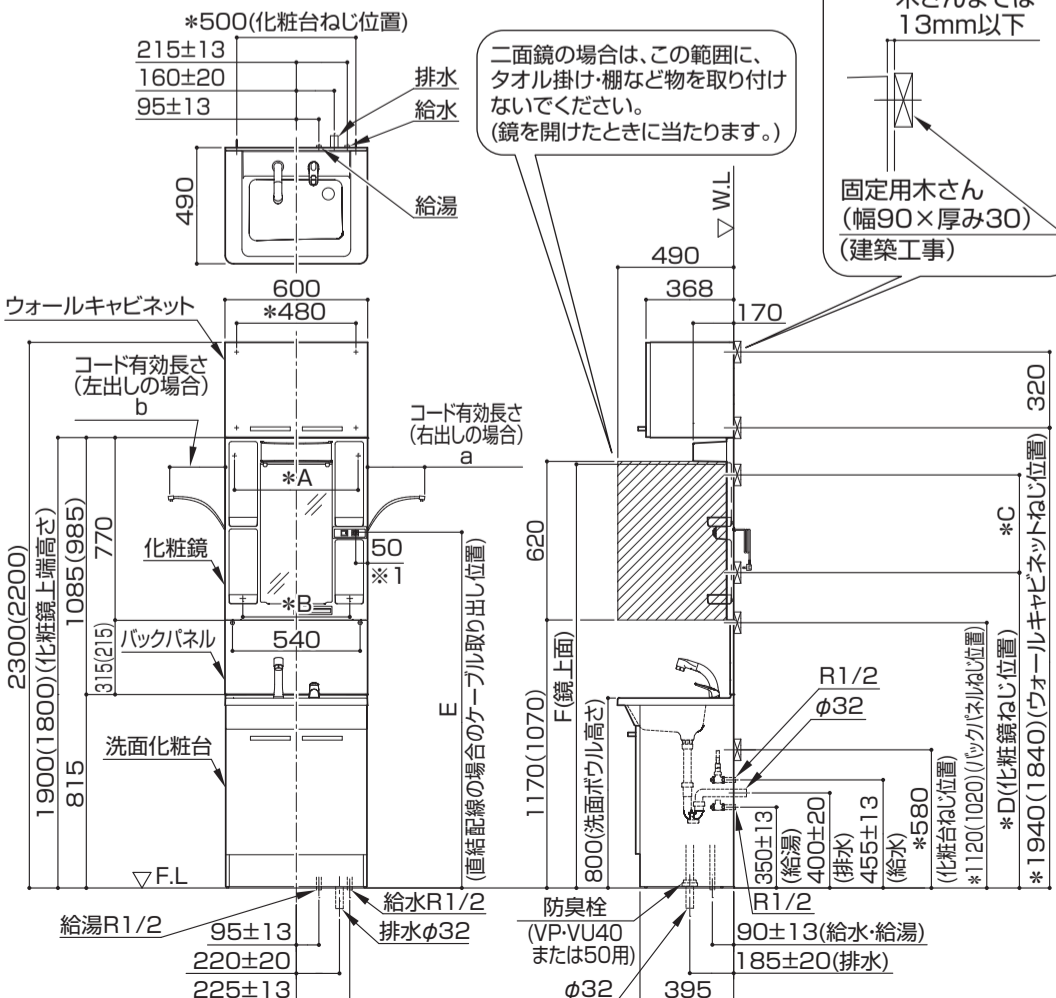
壁給水	給湯・水	LTL4C11U (2個)
床給水	給湯	LTL4D13U (1個)
	給水	LTL4D11U (1個)
壁排水管		L095

【樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAを2個ご購入ください。

【間口600の場合】

- 本図は、一面鏡+2枚扉タイプ+エコシングルシャワー水栓+ウォールキャビネットを示します。



*1: 二面鏡、一面鏡(鏡裏収納付き)は60

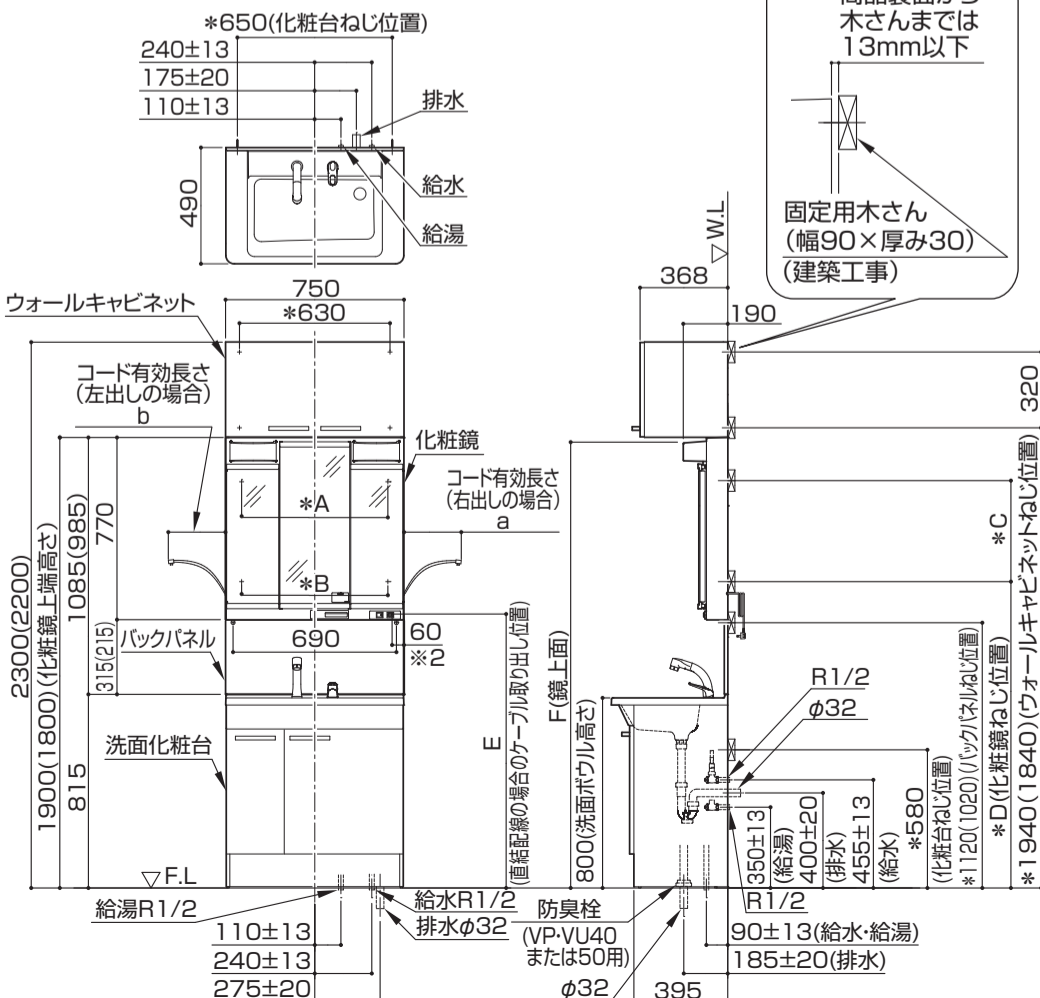
化粧鏡タイプ	鏡上端高さ	間口	*A	*B	*C	*D	E	F	a(右)	b(左)
LMPB060A1	1900	600	520	450	600	1220	1500	1780	1150	700
LMPB060B1	1800					1120	1400	1680		
LMPB060A2	1900	600	445	445	420	1290	1150	1760	1150	700
LMPB060B2	1800					1190	1050	1660		
LMPB060G2	1900	600	445	445	420	1290	1150	1760	1150	700
LMPB060G3	1800					1190	1050	1660		
LMPB060G4	1900	600	445	445	420	1290	1150	1760	1150	700
LMPB060G4	1800					1190	1050	1660		

化粧鏡タイプ	鏡上端高さ	間口	*A	*B	*C	*D	E	F	a(右)	b(左)
LMPB075A1	1900	750	670	600	600	1220	1500	1780	1150	550
LMPB075B1	1800					1120	1400	1680		
LMPB075A3	1900	750	615	615	420	1290	1150	1850	1150	550
LMPB075B3	1800					1190	1050	1750		
LMPB075A4	1900	750	615	615	420	1290	1150	1850	1150	550
LMPB075B4	1800					1190	1050	1750		
LMPB075G3	1900	750	615	615	420	1290	1150	1850	1150	550
LMPB075G4	1800					1190	1050	1750		

*印の寸法は木ねじ位置を示します。
()寸法は、高さ1800対応の場合を示しています。

【間口750の場合】

- 本図は、三面鏡+片引き出しタイプ+エコシングルシャワー水栓+ウォールキャビネットを示します。



*2: 一面鏡(鏡裏収納無し)は90

3) 付属部品明細

【洗面化粧台 LDPB/LDPL型】

水栓一式	排水トラップ	給水ふた (めっき管用)	排水ふた (φ32用)	防臭栓	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	底板固定用トラスチックねじ (φ3.5×12)	取扱説明書 (保証書付)	水受けトレイ	ウォールキャビネット LWPB/LWPL型
1セット	1個	1個	2個	1個	2本	4本	1冊	1個	

【化粧鏡 LMPB型】

壁固定用ねじ (φ4.5×50)	化粧キャップ	電球形		照明カバー	バックパネル (樹脂製)	壁固定用ねじ (φ5.0×55)	化粧キャップ
		蛍光ランプ	LEDランプ				
4本	[2個]LMPB060A1/B1型 LMPB075A1/B1型 [4個]LMPB060A2/B2型 LMPB075A3/B3型 LMPB075A4/B4型	[2個]LMPB075A3/B3型・LMPB075A4/B4型 [1個]LMPB060A1/B1型・LMPB060A2/B2型 LMPB075A1/B1型		1個	2本	2個	

【化粧鏡 LMPL型】

壁固定用ねじ (φ4.5×50)	化粧キャップ	電球形		照明カバー	バックパネル (鋼板製)	壁固定用ねじ (φ5.0×55)	化粧キャップ
		蛍光ランプ	LEDランプ				
4本	4個	[2個]LMPL075G3型・LMPL075G4型 [1個]LMPL060G2型・LMPL060G4型		1個	2本	2個	

【バックパネル LPPL型】

4) 使用条件

●水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

5) 取り付け条件

- 化粧鏡は必ず壁に設置してください。(窓の前などに設置できません。)
- 洗面化粧台、化粧鏡を取り付ける床面および壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。

警告

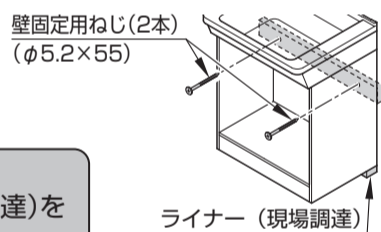
- キャビネット・化粧鏡の壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる (固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁表面の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)
 - ※三方壁に設置する場合は、商品開口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。
 - ※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴を明け、壁固定用ねじに合ったプラグ (引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)
- 商品が転倒し、けがをするおそれがあります。

4) 化粧台の取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定してください。

重要

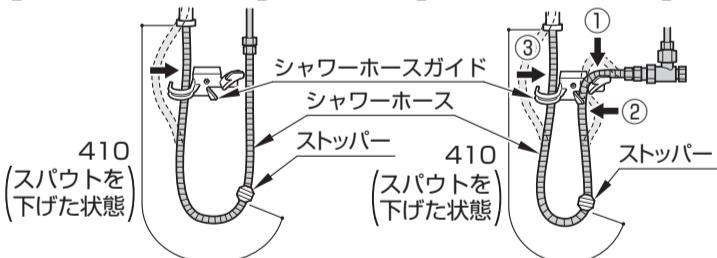
- ※商品は水平・垂直に取り付けてください。(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)



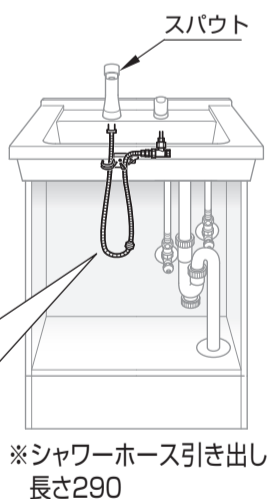
5) シャワーホースの取り付け

【一般地の場合】

【寒冷地の場合】



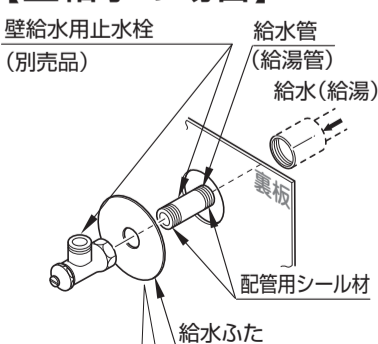
- シャワーホースを番号順にホースガイドに通して、ストッパーを取り付けてください。



6) 止水栓の取り付け

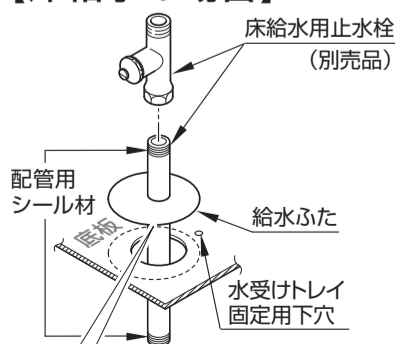
- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応は樹脂配管用止水栓に付属の施工説明書をご参照ください。

【壁給水の場合】

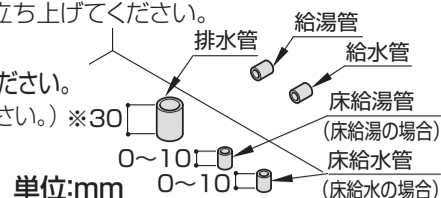


- ※給水ふたは、裏板および底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

【床給水の場合】



- 給水管を所定の位置に取り出してください。
 - 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
 - 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げてください。(排水管はVU40-VU50または、VP40-VP50をご使用ください。)
- ※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。
- ※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコン系シーリング材(現場調達)でシーリングしてください。

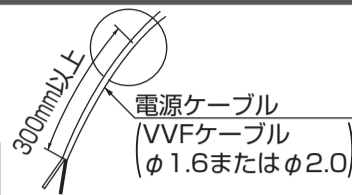


電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様をお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



警告



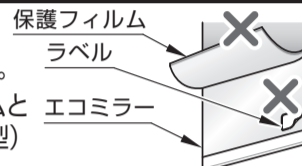
配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う必ず実行 正しく被覆をむかしないと、ショート・感電・火災の原因になります。



電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながない 禁止 発火・火災の原因になります。

6) 化粧鏡の設置上のご注意

- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
- ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。(LMPB/LMPL*****C型)



7) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

1) キャビネットの扉・引き出しを外す

- 外した扉・引き出しは傷がつかないように養生等をして保管ください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。(扉・引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、9)取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。)

2) 給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。
- オプションで電気温水器を取り付ける場合は、給湯用の穴あけは不要です。また、排水穴の穴あけ要領については、電気温水器に付属の説明書を参照してください。

3) 水栓一式の取り付け

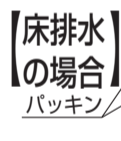
- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

7) 排水トラップの取り付け

注意



- パッキンの方向に注意する
 - ナットは工具を使用せず手で確実に締め付ける
- 必ず実行 水漏れの原因になります。

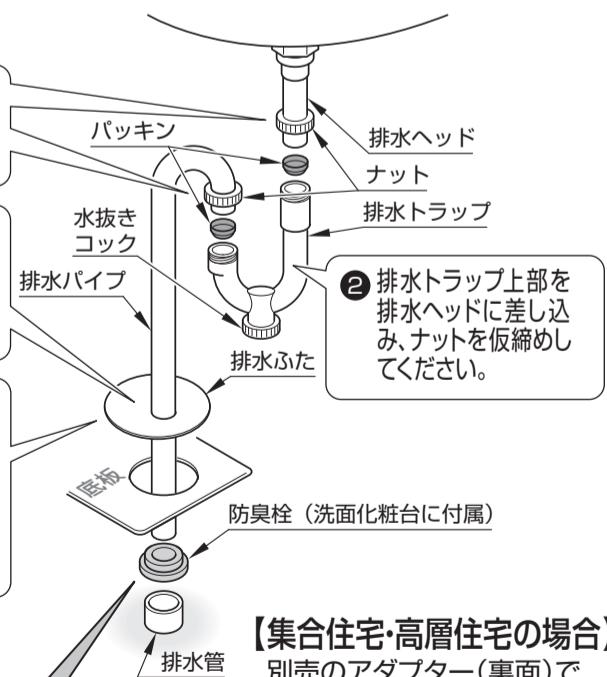


【床排水の場合】

- 3) 排水トラップに排水パイプの位置をあわせて差し込み、ナットを手で確実に締め付けてください。

- 1) 排水パイプに排水ふたおよび防臭栓を通して排水管に差し込み、ナットを仮締めしてください。

- ※排水ふた、または給水ふた同士が重なった場合は、重なった部分をカットしてください。
- ※排水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

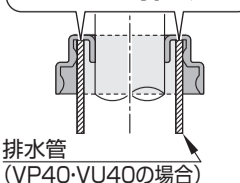


- 【集合住宅・高層住宅の場合】別売のアダプター(裏面)で確実に接合してください。

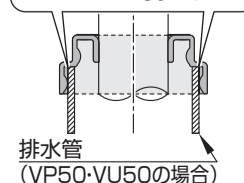
重要

- ※防臭栓は確実に、はめ込んでください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因になります。

止まるまで押し込む



止まるまで押し込む



注意



排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください。排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

7) 取り付け手順 (つづき)

【壁排水の場合】

※穴は現物に合わせてカットしてください。
排水ふた、または給水ふた同士が重なってねじ固定し
難い場合は、重なった部分をカットしてください。

排水管
裏板
排水ふた
壁排水ユニット
別売品 (L095)
排水トラップ
排水ヘッド
ナット
排水パイプ

① 壁排水ユニットをアダプターに接続し、ナットを仮締めしてください。

※パイプ長さは現場に合わせてカットし、バリは取り除いてください。

② 排水トラップ上部を排水ヘッドと壁排水ユニットに奥に当たるまで差し込み、ナットを仮締めしてください。

③ 排水トラップと壁排水ユニットの位置をあわせ、ナットを手で確実に締めてください。

注意

排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください
排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

ふた固定用ねじ (3本) (φ3×12)
アダプター・パッキン・ナット
別売品 (下表参照)

【集合住宅・高層住宅の場合】

別売のアダプター(下表)で確実に接続してください。

排水管サイズ	アダプターの種類
R1 1/4	T1122R(鋼管用)
30用	T1122J(塩ビ管用)
40用	L048(塩ビ管用)
50用	L049(塩ビ管用)

※T1122Jを使用する場合、排水パイプをアダプターの奥まで差し込めるように下端をカットしてください。

排水パイプ
カット (T1122Jを使用する場合)
アダプター
現場接続
排水管

注意

接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行

8 底版の固定

●底版をねじ固定してください。

底版固定用トラスタッピンねじ(4本) (φ3.5×12)

すき間が出ないようにする

9 水受けトレイの取り付け

●図のように底版の、φ8穴に水受けトレイの凸部が手前側になるように差し込み固定してください。

※シャワーホースを伝わる水が受けられるように必ず水受けトレイを設置してください。

水受けトレイ
凸部
φ8穴
底版

10 水栓金具の給水・給湯接続

●給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

【魔法びん電気即湯器・湯ぽと(小型電気温水器)設置時の注意点】

- 水受けトレイを外さずに設置してください。
- 水受けトレイの向きを変えずに設置してください。
- 止水栓の前に設置しないでください。
- 本体スイッチが前板と干渉しない位置に設置してください。

※給水・給湯の接続は付属の施工説明書に従い接続してください。

11 化粧鏡を取り付けない場合

●洗面ボウルと壁面の間をシリコン系シーリング材(現場調達)でシーリングしてください。

注意

必ずシーリングをする
シーリングをしないと突き合わせ部から水が浸入し、必ず実行 キャビネットや壁・床を傷める場合があります。

シーリング

12 化粧鏡取り付け前【直結配線の場合】

●鏡設置前に電源コードを外して、設置時に電源ケーブル(VVF)をコンセント部から取り出してください。

① プレートを外す
② ねじを外し、取り付け枠を外す
③ ①ドライバーで押しながら、電源コードを引っ張って取り外す
※他の電線を引っ張らないよう注意してください

切り欠き
コンセントプレート
電源コード
取り付け枠
ねじ
コンセントプレート

13 化粧鏡・バックパネルの取り付け

① バックパネルの設置
バックパネルを洗面化粧台の上ののせて、左右の位置合わせをしてください。

② バックパネルの壁固定(2カ所)
●所定の固定穴を使用してください。
※壁固定用ねじと化粧キャップはバックパネルの裏側に付属しています。
※化粧キャップ(2個)をはめ込んでください。

③ 化粧鏡の設置
化粧鏡をバックパネルの上ののせて、左右の位置合わせをしてください。その際、化粧鏡の電源コードを本体溝から外に出しておいてください。

④ 化粧鏡の壁固定(4カ所)
●所定の固定穴を使用してください。
●電源コードと接触しないようにしてください。
※化粧キャップ(2個または4個)をはめ込んでください。

⑤ 照明の取り付け (LED/蛍光)
⑤-1 電球形ランプの取り付け
⑤-2 照明カバーの取り付け

⑥ 収納トレイの取り付け

⑦ コンセントの接続
プラグの差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントの接地側(長穴側)に接続してください。

警告

電源コードを束ねたまにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。

電源コードは必ず切り欠き部から出す
電源コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱・火災の原因になります。

バックパネル
化粧鏡
化粧キャップ
バックパネル用壁固定用ねじ (φ5.0×55)
化粧鏡用壁固定用ねじ (φ4.5×50)
照明カバー
電球形ランプ
化粧鏡
電源コード
電源プラグ

重要

〈化粧鏡〉
取付位置がゆがんでいる場合は、鏡が変形することがありますので、変形しないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)を入れてください。

〈バックパネル〉
取付位置がゆがんでいる場合は、バックパネルが変形することがありますので、変形しないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。

注意

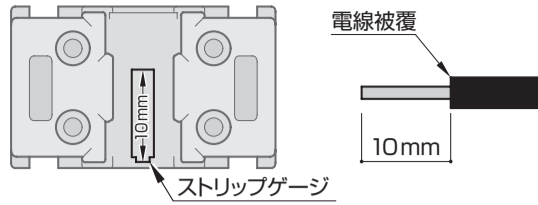
インパクトドライバーおよび電動ドライバーのドリルモードでバックパネル(鋼板製の場合)を固定する場合は締めすぎない
変形する原因になります。

警告

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおく
必ず実行 プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

14 化粧鏡取り付け後【直結配線の場合】

- 電源ケーブル (VVF) の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージにあわせてください。



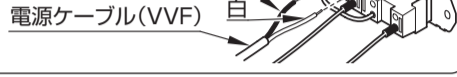
警告

- 配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う**
必ず実行 正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

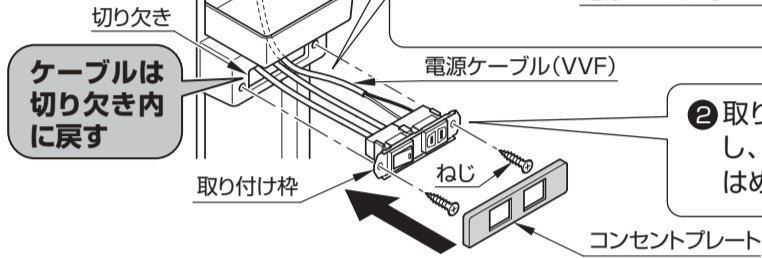
- 電源ケーブル (VVF) を接続してください。

① 電源ケーブル (VVF) を差し込み、接続する

電線は奥まで確実に差し込み、抜けないことを確認する



② 取り付け枠をねじで固定し、コンセントプレートをはめ込む

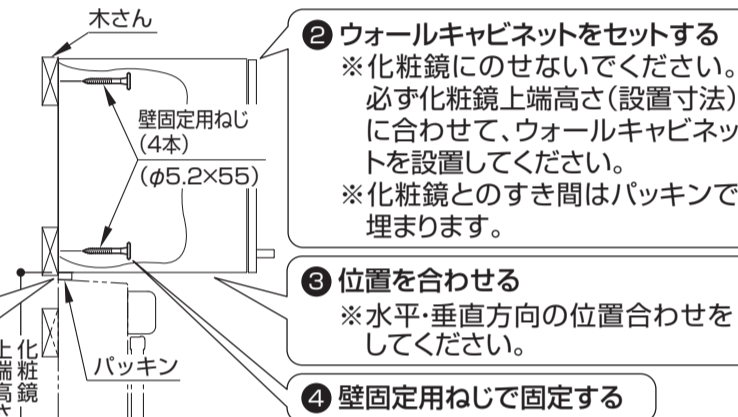


8 ウォールキャビネット取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

- ※商品は水平・垂直に取り付けてください。(壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)

化粧鏡の上部に設置する場合

- ① 底板下面奥側に付属のパッキンを必要な長さにカットして貼り付けてください。

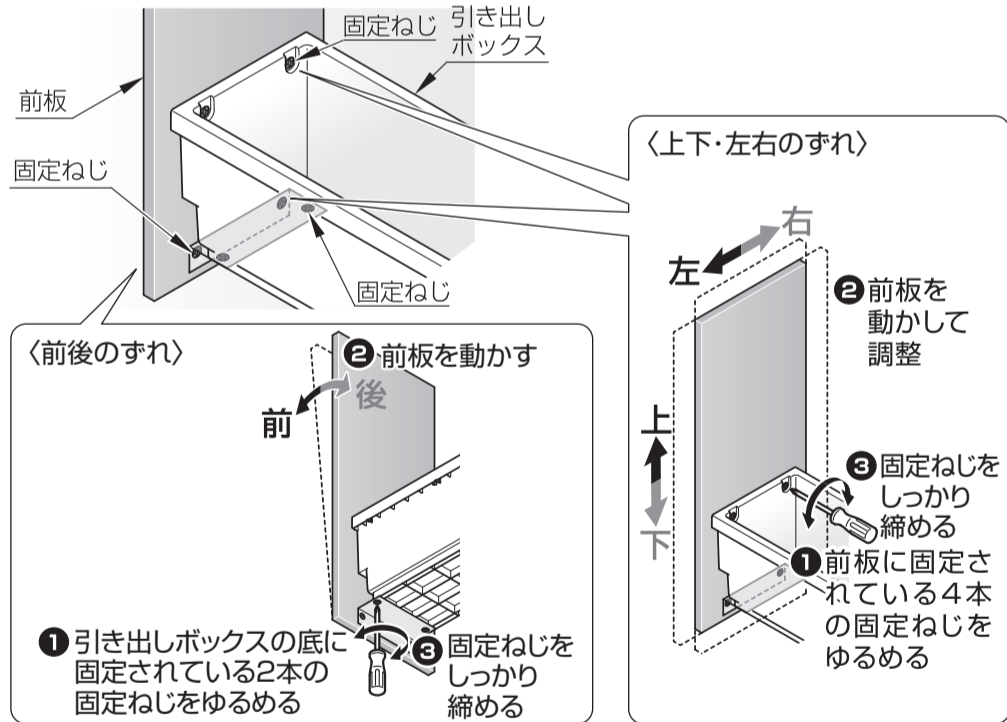


② ウォールキャビネットをセットする
※化粧鏡にのせないでください。必ず化粧鏡上端高さ(設置寸法)に合わせて、ウォールキャビネットを設置してください。
※化粧鏡とのすき間はパッキンで埋まります。

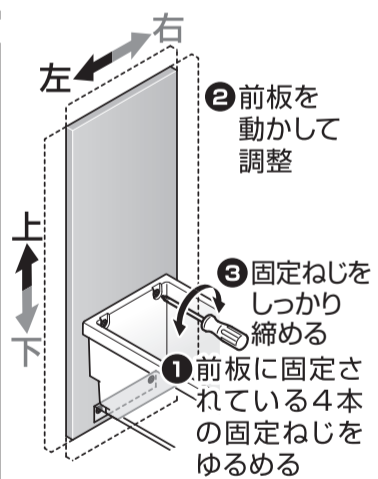
③ 位置を合わせる
※水平・垂直方向の位置合わせをしてください。

④ 壁固定用ねじで固定する

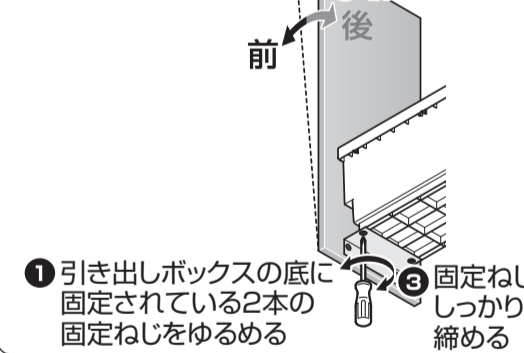
片引き出し前板の調整のしかた



上下・左右のずれ



前後のずれ



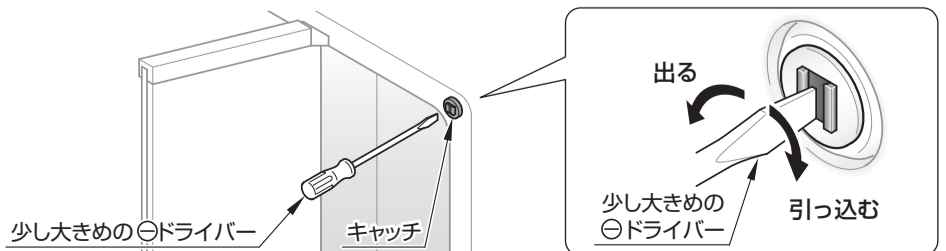
注意

- 調整後は必ず、固定ねじを締め付ける**
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。
必ず実行

- 商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ポウル内に汚れのないことを確認してください。
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。

化粧鏡の調整のしかた

- 袖鏡が確実に閉まるか確認してください。閉まらない場合は、下図のようにキャッチの高さを調整してください。



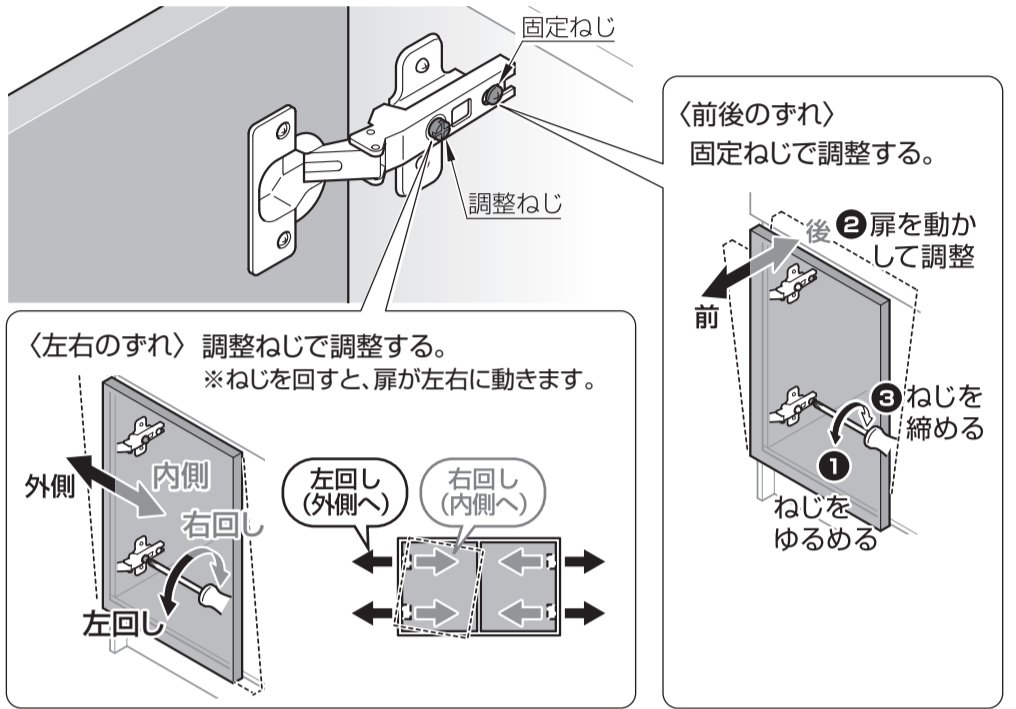
9 取り付け完了後の確認と清掃

調整要領

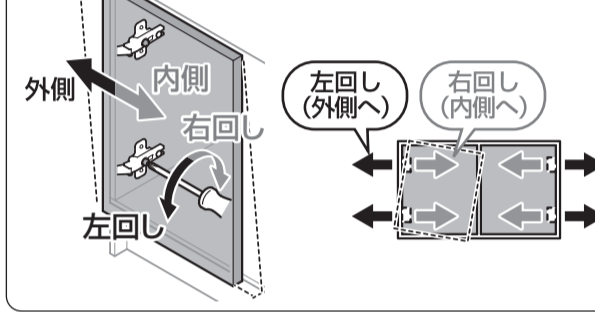
注意

- 電動ドライバー禁止**
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。
- 調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する**
扉が外れて、けがをするおそれがあります。
必ず実行

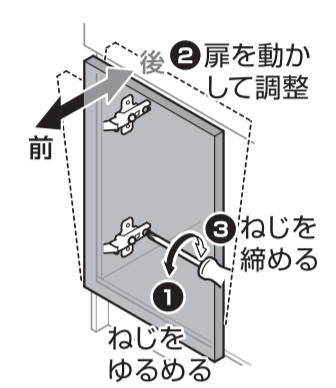
扉の丁番調整のしかた



〈左右のずれ〉調整ねじで調整する。
※ねじを回すと、扉が左右に動きます。



〈前後のずれ〉固定ねじで調整する。



- コンセントに通電することを確認してください。
- 商品に付いた汚れ (プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む) は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

※有機溶剤 (シンナー・アセトンなど) の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。

10 寒冷地用の水抜き方法

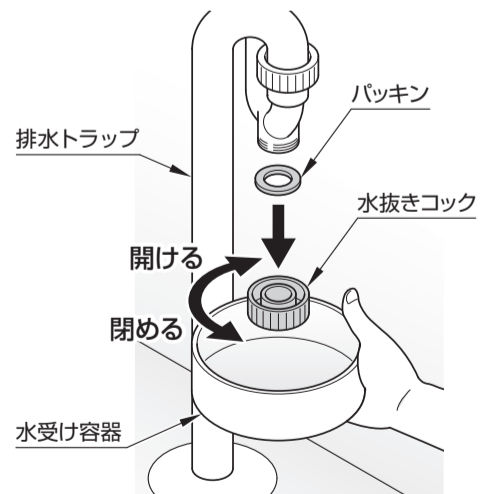
- 凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。
- 寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

注意

- 水抜きコックは工具を使用せず手で確実に締め付ける**
必ず実行 水漏れの原因になります。

排水トラップの水抜き

- ① 水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。(たまった水約140mlを受けるため)
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。



水栓の水抜き

水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。